

だんだん



多田地域づくり
活動センター
〒797-0035
宇和町河内 91-1
☎0894-66-0300
公式 LINE →



センターだよりカラー版を無料でご覧になれます。

行事報告

3/12 (木) 文化教育部会 卒業記念品作成



二宮建築の二宮さんと、三瓶の井上さんを講師にお迎えして、卒業記念品を作りました。5年生は6年生へ。6年生は保護者の方へ、気持ちを込めて作ります。



5年生もこの日は真剣な表情で、集中して取り組んでいました。6年生は喜んでくれたかな？

後日、6年生だけで集まり、保護者の方、先生方、在校生のみんなに送るプレゼントをラッピングしました。



3/24 (火) 多田小学校卒業式



5年生が作ったコーサージュを付けてもらって、いざ卒業式へ…。



今年度は5名の卒業生をお見送りしました。



中学生になっても、センターへ元気な姿を見せに、遊びに来てください！
ご卒業おめでとうございます！

3/12 (木) 安心安全部会 福祉施設訪問



区長や安心安全部会員、民生委員などが、福祉施設訪問をしました。各施設の中を案内してもらい、入居者の生活の様子などを見せていただきました。

3/16 (月) 多田小学生訪問



多田小学校 1~2年生が、日ごろの感謝を込めて、センターへメッセージ付きのプレゼントを持ってきてくれました！

※メッセージはセンターに掲示しています。



3/28 (土) 多田だんだんプロジェクト 第3回お花見会



関地池「さくらまつり」の代替え行事として開催しました。天候に恵まれ、ポカポカ陽気の中、モルックで遊んだり、のんびりと過ごしました。

モルックも初めての方も多かったですが、盛り上がっていました。運動の後は、おいしいお弁当とおやつと桜を楽しみ、春の風を感じました。



多田地区人口

R7.4 現在(カッコ内は前月比) 男：614人(-1) 女：605人(-6) 計：1,219人(-7) 世帯数：637戸(±0)



今年度は、9名の1年生が入学されました。



慣れない場所で、そわそわと落ち着きのないうちの子も、まだまだかわいらしさが残っていて初々しかったです。それでも名前を呼ばれると、大きな声で返事ができていました。これからの成長が楽しみです。センターにもたくさん遊びに来てね！

Information

敬老会 記念品配布中止のお知らせ

例年4月末ごろに行われていた、敬老会の記念品配布は、敬老事業の補助が変更となり、中止になりました。今後、敬老事業の在り方について、検討していきます。

西予市大学生等生活応援事業の お知らせ

国の重点支援地方交付金を活用し、西予市出身の大学生を支援します！対象の方はぜひご活用ください！

別館利用中止のお知らせ

今年度よりセンター別館が利用できなくなりました。今までご利用いただいていた団体のみならず、ありがとうございました。なお、グラウンドは使用できますが、別館のお手洗いなどは水道が止まっているため、使用できません。センターまでお越しください。ご不便おかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

5月31日〆切

=西予市大学生等生活応援事業=

物価高騰の影響を受けている市出身の大学生等を支援するため、国の重点支援地方交付金を活用し、市内特産品セットをお届けします！

申請者: 保護者
対象者: 令和8年2月1日時点で西予市に住んでいる保護者に扶養を受けている大学生など(専門学校生も含まれます)

👉 詳しくはホームページをご覧ください

お問合せ先: 教育総務課
☎ (0894) 62-6430



センターの新メンバーをご紹介します！

4/1付で多田地域づくり活動センターの「センター長」が交代しました！新しいセンター長よりご挨拶です。



4月1日付で多田センター長に就任いたしました、東多田生まれ、東多田育ちの岡崎です。井上前センター長の築かれたものを礎に、よりいっそう地域の皆様の交流と絆を深める「つどい・まなび・ふれあいの場」として、明るく住みよい地域づくりに微力ながら貢献したいと存じます。多田だんだんプロジェクト等の取り組みを推進するため、皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。



多田地域づくり活動センター センター長 岡崎 彰彦

多田さんぽ

地元を知って、地元を愛す みんなで知ろう。多田のこと！ 5歩目「金毘羅参りの常夜灯」



今回は「多田地区歴史さんぽ」で紹介されている「多田地区観光名所一覧」より⑤「金毘羅参りの常夜灯」です。
“伊勢へ7度熊野へ3度”(信仰心がどれだけ深くても過ぎることはないという、ことわざ)という言葉が残るように、天保・嘉永・安政年間に、神社詣でが大いに流行していた。講組(地域で作る集団)を作り参拝していく風習が各地にあり、金毘羅参りおよび、和霊参りも盛んに行われていた。農閑期に数人で講を作り参拝することは、農民生活にとって慰安であり、また文化交流・農業の新品種移入など、産業向上にも役立ったようです。そんな中、常夜灯は道しるべや、地域繁栄の願いも込められ作られたのかもしれませんが。
* 「多田地区歴史さんぽ」参照
* 「多田地区歴史さんぽ」は多田地域づくり活動センターにあります。興味のある方は、ぜひお手に取ってみてください。

